

人事委員会議事録（第1643回）

1 開催日時

令和2年10月8日（木）10：00～11：00

2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

3 会議に出席した者

委員	松田直人	委員長
	鈴木尉久	委員
	長尾真	委員
事務局職員	西村嘉浩	事務局長
	森本剛史	任用課長
	古川卓哉	給与課長
	岡野揮代美	任用課副課長兼総務審査班長
	小倉豊道	給与課副課長

開 会

第1号議案

議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1642回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

第2号議案

審査請求の裁決の件（令和2年（不）第1号事案）

任用課長が、令和2年4月21日付け審査請求（令和2年（不）第1号事案）の裁決書（案）を説明し、審議の結果、原案どおり裁決した。

（委員）

先日、過去にわいせつ行為で懲戒免職になった教員が再度採用される可能性に関する新聞報道があったが、採用試験でチェックできる体制になっているのか。

（事務局）

受験者数も多くチェックすることは難しく、本人の申告で担保するしかない。仮に、過去の懲戒処分歴や欠格条項該当歴を知り得たとしても、そのことだけで採用の可否を決めることはできない。

文部科学省は、わいせつ行為などで懲戒免職となった教員のデータ検索が可能な期間を3年から40年に延長すると発表した。地方公務員法の欠格条項（第16条）に該当しなければ採用試験の受験は可能である。

第3号議案

公文書非公開決定に係る審査請求の裁決の件

任用課長が、公文書非公開決定にかかる令和元年12月20日付け審査請求の裁決書(案)を説明し、審議の結果、原案どおり裁決した。

報告事項1

看護師等採用候補者選考試験(第1回・第2回・臨時募集)の実施結果等

任用課長が、標記試験の実施結果を報告した。

(委員)

今年度、採用数を70人増やした一方で、退職見込数は当初予定より30人も減っている。年度途中での退職者が少ないということか。

(事務局)

看護師は当初の退職希望を撤回したり、急に退職を申し出るなど、退職者数を見込むのが難しいと聞いている。

(委員)

毎年、退職見込数を修正しているのか。

(事務局)

例年、第2回試験(7月)と第3回試験(10月)の間の9月に退職見込数を精査し採用予定数を修正している。

報告事項2

人事院勧告

給与課長が、令和2年10月7日に行われた特別給にかかる令和2年人事院勧告の概要を報告した。

(委員)

ボーナスの改定について、民間と均衡を図るとのことだが、民間の支給割合4.46月に対して、公務の支給月数を4.45月としているのはなぜか。

(事務局)

従前から、ボーナスの改定は0.05月単位としている。

(委員)

ボーナスに関する調査を「実地によらない方法」で行うとはどういうことか。

(事務局)

郵送調査のことであり、具体的には、賞与等の調査票を事業所に送付し、電話により適宜説明・確認の上、返信用封筒により回答をもらうものである。

(委員)

調査完了率が8割とのことだが、残り2割は何か。

(事務局)

調査回答は義務ではないため、毎年、調査に協力いただけない事業所が1～2割程度ある。人事院は、コロナ影響下であったが、非常に高い調査完了率になったとしている。

報告事項3

任命権者が行った処分

任用課長が、教育委員会及び警察本部長が行った7件の懲戒処分内容及び理由を説明した。

(委員)

体罰事件の監督責任で戒告処分を受けた市立中学校長は、所属職員による体罰事件で今年6月にも処分を受けているが、同じ職員による体罰事件なのか。

(事務局)

同校では、今年6月、別の教諭が体罰事件で懲戒処分を受けており、さらに今回、新たな体罰事件を発生させたためである。

閉 会